令和２年６月２３日

札幌市長　秋元　克広　様

札幌市議会公明党議員会
会長　國安　政典

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

本市では、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除を受け、感染拡大の防止とともに、社会・経済活動の段階的な拡大をめざす取組を一体的に進めることとしているが、市内では、依然として新規感染者が発生しており、今なお余談を許さない状況にある。

こうした中、政府は、事業の継続と雇用、生活を守り抜くともに、次なる流行に対し万全の備えを急いでいくために、総額３２兆円の第２次補正予算を編成し、先日国会で可決・成立した。

本市においては、引き続き、再流行の防止に万全を期すとともに、社会経済活動の段階的な引き上げをめざし、さらにはアフターコロナ時代を見据えながら、これまでの対策に加え、今般成立した国の第２次補正予算を最大限に活用し、早急に追加の対策を取りまとめ、実施することを申し入れる。

記

１　医療、介護などへの総合的な支援

対策メニューの拡大や全額国費化など抜本的な拡充が図られた「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用しながら、検査機関への機器整備支援、専用病床など患者の受入体制の充実、医療従事者や介護職員への支援、全ての医療機関、社会福祉施設、薬局などを対象とした感染症対策やクラスターの発生に係る対応、事業継続に対する支援など、感染拡大防止を支える医療・福祉等の関係機関の体制・連携強化を図りながら、各種支援を充実させること。

２　事業継続と雇用を守るための更なる支援

市内における交流・消費循環の促進を図るため、公共交通の利用拡大や道産食品の消費喚起、地域の飲食店の活性化、教育旅行の誘致促進等につながる助成制度を創設すること。併せて、市内の観光業や各種イベントについては、市内の需要喚起を図るため、市民がその魅力を再認識し、また、市民がより身近に感じることができるイベントを開催することができるよう必要な支援を行うこと。

３　暮らしを守るための更なる支援

経済的に困窮するひとり親家庭などへの支援を拡充するとともに、外出自粛等の長期化の影響により増加したＤＶや虐待等の相談・支援体制の強化を図ること。

４　子どもが安心して学び、成長できる場の確保

生徒・児童が安全に学校生活を送り、学びの保障を適切に受けることができるよう、学校が行う感染症対策を支援するとともに、夏休みの短縮等により、熱中症のリスクの高い時期に授業を行う機会が増えることから、夏場の暑さ対策について創意工夫を図ること。また、部活動の全国大会などの中止の代替措置として、子どもたちが日頃の努力の成果を発揮し、活躍・成長できる機会を確保すること。

５　芸術文化活動の再生支援

活動の機会を奪われている芸術・文化の表現者のみならず、演出の担い手やその活動を下支えする方々に対し、活躍する機会の提供などの支援を行うとともに、市民が芸術文化にふれる機会を回復・創出するなどして、芸術文化の一層の振興を図ること。

６　地域の経済回復と活性化に向けた支援

飛躍的に増額された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しながら、市内の経済回復と活性化に向けて、市民の生活に欠かすことのできないエッセンシャル・ワークを継続して実施している事業者等に対し、効果的な支援を展開すること。

７　避難所運営における感染症対策の推進

避難所における感染症の拡大を防ぐためには、過密状態の防止や避難者の十分な避難スペースの確保に加えて、避難者が感染症対策についての理解を深めることが必要であることから、避難所運営マニュアルの見直しを速やかに行うとともに、市民への周知徹底を図ること。

８　（仮称）北海道・札幌市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の設置

専門的見地から適切な助言を受け、また、北海道との連携をより一層深めながら、北海道・札幌市の状況に応じた感染症対策の適確な実施や第３波の感染拡大を防ぐことができるよう、早期に、（仮称）北海道・札幌市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を設置すること。